

EM生ゴミ発酵肥料で土づくり編

使い方シリーズ その2

資源をムダなく循環させ、家庭菜園やガーデニングにも楽しく活用できます。

用意するもの



1:3



※11Lの生ゴミ処理バケツの場合はプランター4個分。18Lの生ゴミ処理バケツの場合はプランター7個分が目安です。



[生ゴミ発酵肥料]

[乾いた土]

[EM活性液]

[プランターボックス]

[腐葉土や赤玉土
鉢底石など(適量)]

※使用するEM生ゴミ発酵肥料と土の体積割合は1:3です。

米のとぎ汁EM
発酵液でも可

手順



1 EM生ゴミ発酵肥料と土を混ぜ合わせます。

あらかじめEM生ゴミ発酵肥料と土を1:3で混ぜ合わせます。腐葉土なども適量加えます。



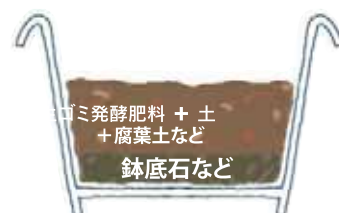
4 表面に乾いた土をかける

表面に見えるEM生ゴミ肥料などが隠れるように、軽く土をかけてください。



2 プランターに鉢底石などを敷きます。

プランターの通気性や排水性を高めるために、底に赤玉土や鉢底石を1~2cm敷きます。



3 2のプランターに1で混ぜ合わせたものを入れます。

★EM活性液や米のとぎ汁EM発酵液のつくり方はリーフレットNo.1をご覧ください。



5 EM活性液を表面にかける

EM活性液か、米のとぎ汁EM発酵液を5~10倍に希釈し、土の表面がしっかりと湿るまでかけます。

生ゴミが土にかえったら植物を植えましょう!

6 熟成させる

余分な水分を吸収させるため、新聞紙をかけ、その上からゴミ袋で覆い、ビニールをかけて、ひもでしばります。およそ1ヵ月で生ゴミはほとんど分解し、よく肥えた土になります。



EMの使い方についてのお問い合わせはこちら



EM研究機構

〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1478
TEL: 098-935-0202 FAX: 098-935-0205

<http://www.emro.co.jp>